

## 『三譯総解(第十)』ハングル表記満洲語文語索引\*

王 海波  
(嶺南師範学院)

キーワード: 『三譯総解』、ハングル表記、満洲語文語

### 1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる(小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290)。

清学書におけるハングル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一对一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音) に相当する語形が、ハングル表記では1音節で書かれる場合もあれば、2音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハングル表記や io に対応するハングル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハングル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記の対応関係に関する研究としては、池上(1951; 1954; 1963)、今西(1958)、성백인(1984)、岸田(1989)、Ikegami(1990)、崔宰宇(1997)、菅野(2005)、邵磊(2011; 2016)、和田(2013)、王敵非(2013)、邵磊・多麗梅(2022; 2023)、邵磊・金龍軍(2022)、邵磊・林茶英(2022)、邵磊・王敵非(2022)、邵磊・任國俊(2023)などが挙げられる。

満洲文字とハングルの表記対応の問題を検討するには、ハングルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『三譯総解』(全十卷)の第十卷(『三譯総解(第十): 錦囊計趙雲救主』)にあるハングル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

### 2. ハングル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『三譯総解(第十)』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

[1] 第1列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写(メレンドルフ式転写)と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田(1937)、田村ほか(1966-1968)、福田(2008)等を参考にした。なお、和訳は原則として『三譯総解』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。

[2] 第1列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『三譯総解』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第1列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。

\* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」(課題番号 22FMZB009)の助成を受けた研究成果の一部である。

[3] 第2列には、『三譯総解』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。  
 [4] 第3列は、当該語形が『三譯総解』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(10-1a-2-3)」は「第10巻-第1葉a面-第2行-第3語」を表す。「第X語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合のX番目に現れる語を指す(ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する)。

表1：『三譯総解（第十）』ハングル表記満洲語文語索引

メンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka 「空」	압카	(10-21a-2-2)
abkai 「空(そらの)」	압캐	(10-15a-1-1)
absi 「どう；なんと；どこに」	압시	(10-15a-6-3)
acambi 「会う；合う」	아참비	(10-21b-6-4)
acafi	아차피	(10-13a-6-5) (10-20b-2-4)
acaha	아차하	(10-11a-3-2)
acahabi	아차하비	(10-7b-2-5)
acarakū	아차라쿠	(10-10b-4-2)
adali 「同様」	아다리	(10-11b-6-5)
adaramé 「如何に」	아다라머	(10-16b-4-5)
afambi 「攻める、戦う」	---	---
afaha	아파하	(10-6b-2-5) (10-12a-4-1)
afame	아파머	(10-12a-6-4) (10-16a-1-2)
afara	아파라	(10-16b-4-3)
aga 「雨」	아가	(10-6b-6-4) (10-16b-6-2)
agambi 「雨が降る」	---	---
agara	아가라	(10-16b-6-3)
agūra 「豹尾槍(槍の一種)；兵器；機械」	아구라	(10-2a-3-8) (10-2b-1-3) (10-8b-1-4)
ai 「何；何の」	애	(10-11b-5-4) (10-13b-2-3) (10-14b-4-6) (10-16a-6-2) (10-22b-6-4)
aikabade 「もし」	애카바더	(10-6b-4-1) (10-7b-6-2) (10-14b-6-2)
	애가바더 <sup>1</sup>	(10-15b-6-1)
ainambi 「何をする、どうする」	애남비	(10-24b-6-5)
ainaha	애나하	(10-15b-3-6)
ainara	애나라	(10-7a-4-7) (10-26a-1-5)
ainu 「なぜ」	애누	(10-2b-1-5) (10-10b-5-3) (10-22b-3-2)
aisin 「金」	애신	(10-3a-2-7) (10-7b-3-8) (10-8b-4-2)
ajigen 「小さい、幼い」	아지건	(10-1b-2-4) (10-23a-3-1)
akū 「無い」	아쿠	(10-2a-4-3) (10-4a-4-6) (10-6b-5-5) (10-9a-3-2) (10-14b-4-8) (10-16a-6-6) (10-19a-6-1) (10-22a-3-3) (10-23a-1-2) (10-26a-1-3)

<sup>1</sup> 原書の当該箇所では、「애카바더」ではなく「애가바더」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

akūngge 「無いもの」	아쿱거	(10-14a-1-5)
alambi 「告げる」	---	---
alahakū	아라하쿠	(10-21a-4-8)
alaki	아라키	(10-21a-3-8)
alame	아라머	(10-2a-3-3)
alarakū	아라라쿠	(10-12b-6-1) (10-17b-3-1)
alanggimbi 「告げに行かせる」	---	---
alangiha	아랑기하	(10-3a-5-2) (10-3b-3-7)
alanjimbi 「告げに来る」	---	---
alanjiha	아란지하	(10-14b-1-3) (10-19b-2-6)
alanjihabi	아란지하비	(10-11a-5-6)
alanjime	아란지머	(10-11a-4-4) (10-12a-2-6) (10-24b-2-2)
aldangga 「遠縁の」	알당가	(10-7b-5-7)
alimbaharakū 「甚だ」	아림바하라쿠	(10-3a-1-1) (10-3b-1-3) (10-14a-3-5)
alin 「山」	아린	(10-25a-3-7)
aliyambi 「待つ；後悔する」	---	---
aliya	아랴	(10-18a-5-4)
aliyame	아라머	(10-25b-2-9)
aljambi 「離れる；顔色を変える」(angga aljambi 「約束する」)	---	---
aljafi	알자피	(10-1a-5-3)
ama 「父」	아마	(10-13b-4-8) (10-19a-4-3)
amala 「後ろ(に)；後に；これから」	아마라	(10-6b-2-2) (10-8a-1-5)
amargi 「北；後ろ」	아말기	(10-8a-1-1) (10-19b-1-6) (10-20b-6-4) (10-25a-2-3)
amasi 「後ろに」	아마시	(10-24b-3-2) (10-25b-6-3)
amba 「大きい」	암바	(10-5a-1-3) (10-6b-3-1) (10-7b-3-4) (10-8a-2-5) (10-18a-5-1) (10-18b-5-4)
amban 「大臣；大きい」	암반	(10-15a-5-1)
ambasa 「大臣たち」	암바사	(10-20b-6-3) (10-21a-2-6)
ambula 「多い；大いに」	암부라	(10-3a-3-1) (10-4a-4-1) (10-8a-4-5) (10-8a-6-3) (10-12a-6-8) (10-14a-1-2) (10-20b-5-5) (10-22a-5-1) (10-23b-2-3) (10-24b-4-1)
amcambi 「追う」	---	---
amcaci	암차치	(10-21b-6-3)
amcafi	암차피	(10-22a-3-5)
amcame	암차머	(10-24a-2-4)

amha 「妻の父；夫の父」 <sup>2</sup>	암하	(10-19b-5-6)
amuran 「好き」	아무란	(10-1b-3-3) (10-23a-3-6)
anambi 「押す」	아남비	(10-14b-2-4)
aniya 「年」	아냐	(10-9b-3-2) (10-10a-1-1) (10-10b-1-4) (10-14a-2-3) (10-17b-1-2) (10-18a-3-2) (10-18b-4-5) (10-18b-4-6)
antaka 「どうか」	안타카	(10-4a-3-1) (10-17b-3-3)
arambi 「作る；書く；～のふりをする」	---	---
araci	아라치	(10-7a-4-5)
arafi	아라피	(10-4a-6-4) (10-6a-1-5) (10-11b-2-5)
arbun 「容姿；様子」	알분	(10-5a-6-2) (10-13a-3-3)
arga 「方法；計略」	알가	(10-4a-5-2) (10-5b-2-5) (10-5b-5-3) (10-7b-2-1) (10-8a-3-6) (10-9a-3-5) (10-10a-4-7) (10-10b-5-4) (10-11a-1-1) (10-18a-1-4) (10-18b-3-1) (10-26a-4-3) (10-26a-5-3)
argangga 「奸計に長けた」	알강가	(10-5a-5-3)
ashambi 「帯びる」	---	---
ashafi	앗하피	(10-1a-4-1)
ashaha	앗하하	(10-23b-4-1)
ashan 「傍ら」	앗한	(10-2b-3-5) (10-11a-3-4) (10-20b-6-1)
aššambi 「動く」	---	---
aššame	아샤샤머 <sup>3</sup>	(10-23b-1-5)
bade 「所/里に」	바더	(10-6b-1-2) (10-8a-1-2) (10-10b-1-2) (10-26b-1-7)
bahambi 「得る」	바함비	(10-16b-3-2)
baha (完了)	바하	(10-7a-1-2)
bahafi	바하피	(10-10b-4-1) (10-22b-5-5)
baharakū	바하라쿠	(10-15a-3-4)
baimbi 「探す；求める」	---	---
baiha	배하	(10-17a-2-5)
baitakū 「無用の」	배타쿠	(10-9a-5-6) <sup>4</sup>
baitalambi 「使う」	배타람비	(10-5b-2-6)
baitala	배타라	(10-8b-5-3)
baitalafi	배타라피	(10-6b-2-4)
baksan 「束；兵の一隊」	박산	(10-25a-3-4)

<sup>2</sup> 『清文鑑』では「妻の父」と「夫の父」のいずれも amha とされている。『増訂清文鑑』では「妻の父」と「夫の父」がそれぞれ amha と amaka に区別されている。『三譯総解』原書におけるこの amha は、「夫の父」を意味するものと解される。

<sup>3</sup> 王海波 (2026a: 4) の脚注3を参照されたい。

<sup>4</sup> 『大清全書』と『増訂清文鑑』における baitakū の漢訳は、それぞれ「閑人之閑。無用。不中用。」および「無用」である。一方、『三譯総解』(10-9a-5-6)における baitakū は、「事がない」という意味で用いられている。『満漢合璧三国志』における対応漢語は「終日無事」の「無事」である。また、岸田 (1997: 256) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』における対応部分はそれぞれ baitakū と baita akū である。

baniha 「感謝」	바니하	(10-20a-3-4)
banjimbi 「暮らす；生む；生まれる」	반짐비	(10-22b-3-4)
banjici	반지치	(10-17b-5-1)
banjifi	반지피	(10-22a-5-3) (10-23b-2-5)
baru 「～に向かって」	바루	(10-19b-1-7)
baturu 「勇ましい；勇者」	바투루	(10-5a-6-1)
bayambumbi 「富ませる」	---	---
bayambufi	바얌부피	(10-7b-4-4)
be 「私たち(除外的)」	버	(10-25b-2-1)
be 「を」	버	(10-1a-6-4) (10-1b-4-1) (10-2b-5-1) (10-2b-6-2) (10-3a-2-3) (10-3a-4-3) (10-3a-4-8) (10-3b-4-4) (10-3b-6-5) (10-4a-1-4) (10-4a-2-4) (10-4a-5-3) (10-4b-2-5) (10-5a-2-4) (10-5b-6-2) (10-6a-1-3) (10-6a-2-1) (10-6a-3-3) (10-6a-4-1) (10-6a-5-4) (10-6a-6-4) (10-6b-3-3) (10-7a-1-1) (10-7a-3-3) (10-7a-4-2) (10-7b-4-2) (10-7b-6-4) (10-8a-3-7) (10-8a-5-6) (10-8b-1-5) (10-8b-2-3) (10-8b-4-8) (10-9a-2-2) (10-9b-6-5) (10-10a-1-6) (10-10a-3-4) (10-10a-5-3) (10-10a-5-7) (10-10b-5-1) (10-10b-5-5) (10-10b-6-4) (10-11a-1-2) (10-11b-1-4) (10-11b-4-5) (10-12b-5-4) (10-13a-3-4) (10-13b-5-2) (10-14a-6-8) (10-15a-1-5) (10-15a-6-7) (10-15b-3-9) (10-15b-4-4) (10-16a-2-5) (10-16a-4-5) (10-16a-6-8) (10-18a-2-5) (10-18a-4-5) (10-18b-2-2) (10-18b-3-2) (10-18b-6-4) (10-19b-5-1) (10-19b-6-2) (10-20a-4-5) (10-20a-5-6) (10-20a-6-6) (10-20b-2-3) (10-20b-3-3) (10-20b-3-6) (10-21a-3-6) (10-21b-1-2) (10-21b-2-5) (10-22a-2-3) (10-22a-5-5) (10-22a-6-5) (10-22b-5-4) (10-23a-1-5) (10-23b-1-1) (10-23b-3-5) (10-23b-5-9) (10-25a-2-4) (10-25a-4-2) (10-25a-4-7) (10-26a-5-4)
bederebumbi 「返す」	---	---
bederebuci	버드러부치	(10-10a-6-2)
bedereburakū	버드러부라쿠	(10-12b-5-5)
bederembi 「戻る、帰る、退く」	---	---
bedere	버드러	(10-13a-1-5)
bedereki	버드러키	(10-9a-2-7) (10-12b-2-2) (10-14b-1-6)
benembi 「送る」	---	---
benefi	버너피	(10-8b-1-7)
benehe	버너히	(10-8b-5-5)

betge 「脚」 <sup>5</sup>	벉거	(10-25a-4-1)
beye 「体 ; 自分」	벼여	(10-10a-2-2) (10-13b-4-1) (10-26b-1-5)
bi 「私」	비	(10-10b-3-2) (10-14a-3-4) (10-14a-5-3) (10-14b-4-5) (10-14b-5-3) (10-15a-4-4) (10-15a-6-5) (10-17a-2-1) (10-17a-6-3) (10-18a-6-1) (10-25a-2-2)
bi 「ある ; いる」	비	(10-5a-6-3) (10-10a-5-1) (10-13a-2-4) (10-25b-6-7) (10-26a-4-8) (10-26b-1-1)
bici	비치	(10-24b-1-8)
bicibe	비치버	(10-19b-6-4)
bifi	비피	(10-2a-3-9) (10-11a-5-2) (10-11b-6-2) (10-19a-5-1)
bihe	비허	(10-9b-5-1) (10-10a-6-5) (10-26b-2-4)
bihei	비헤	(10-9b-1-7)
bikai	비캐	(10-1b-5-7)
bisirakū	비시라쿠	(10-7a-1-8)
bisire	비시러	(10-1a-6-1) (10-3a-6-5) (10-5b-4-4)
bibumbi 「留める」	---	---
bibure	비부러	(10-6b-1-3)
bithe 「本 ; 字 ; 学識」	빈허	(10-3b-4-3) (10-3b-5-2) (10-4a-6-3) (10-4b-2-4) (10-4b-3-3) (10-4b-6-3) (10-7a-4-3) (10-18b-6-1) (10-21a-1-1) (10-21b-2-2)
biyai 「月の」	배	(10-18a-3-3) (10-18b-4-7)
boco 「色 ; 顔色 ; 女色」	보초	(10-6a-3-2) (10-8b-6-2) (10-10b-2-5)
bodombi 「考える ; 計算する」	---	---
bodoci	보도치	(10-22b-4-1)
boljombi 「約束する ; 予測する」	---	---
boljoci	볼조치	(10-16b-4-6)
boo 「家 ; 部屋」	보	(10-1a-2-6) (10-1a-6-3) (10-2a-2-4) (10-2a-3-4) (10-6a-1-1) (10-7b-3-5) (10-11b-3-4)
boode 「家/部屋に ; 家/部屋で」	보더	(10-13a-5-2) (10-20b-6-5)
booi 「家/部屋の」	부	(10-1b-5-3)
bucembi 「死ぬ」	---	---
buceci	부쳐치	(10-17b-5-2)
bucehe	부쳐허	(10-13b-6-1) (10-16a-1-3)
bucerakūci	부쳐라쿠치	(10-16b-2-7)

<sup>5</sup> 当該語は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても bethe と綴られている。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、betge に対応する形で現れている。筆者の確認によれば、betge は『三譯総解』では 2 例出現しており、その出現箇所は(3-21b-1-1)および(10-25a-4-1)である。金東昭 (1990[1977]: 96) は、『三譯総解』(3-21b-1-1)の betge に言及し、これに対応する満洲語規範語は bethe であると指摘している。

bulekušembi「鏡を見る；見抜く」	---	---
bulekušeme	부리쿠셔머	(10-7a-5-1)
bumbi「与える」	---	---
bufi	부피	(10-4b-1-4) (10-20a-3-5) (10-23b-4-4)
buhe	부허	(10-3a-3-3) (10-3b-6-8) (10-9b-4-7)
bume	부머	(10-7b-4-3)
buyembi「愛する；願う」	부염비	(10-7a-3-4) (10-15b-1-1)
canenggi「一昨日」 <sup>6</sup>	차녕기	(10-5a-1-1)
cen「漢語陳 (cen u「陳武」)	첸	(10-22a-1-7) (10-22b-4-2)
cendembi「試す」	---	---
cendeme	첸더머	(10-13a-3-5)
ceng「漢語程 (ceng pu「程普」)	청	(10-22b-2-1) (10-23a-2-1)
ci「より」	치	(10-1b-2-5) (10-7b-5-6) (10-15a-3-2) (10-20b-4-2) (10-23a-3-2) (10-25a-6-8)
cibi「漢語赤壁」 <sup>7</sup>	치비	(10-12a-3-2)
cihai「任意に」	치해	(10-3a-6-1)
cihalambi「好む；隙を狙う」	---	---
cihalafi	치하라피	(10-14b-2-1)
cimari「明日；朝」	치마리	(10-12a-2-1) (10-21b-4-6)
cin「漢語欽 (jang cin「蔣欽」)	친	(10-23b-3-2) (10-24a-1-2)
cira「顔、顔色」	치라	(10-1a-5-2) (10-11b-2-4)
ciyan「漢語乾 (sun ciyan「孫乾」)	찬	(10-3a-4-2)
cooha「兵；軍」	초하	(10-6b-2-3) (10-12a-3-4) (10-12a-5-1) (10-18a-4-4) (10-22a-1-5) (10-24a-2-1) (10-24b-2-4) (10-24b-6-2) (10-25a-3-6) (10-25b-6-1) (10-25b-6-6)
coohai「兵/軍の」	초해	(10-1b-2-6) (10-2b-1-2) (10-6b-5-1) (10-9a-6-3) (10-18b-6-2) (10-20b-3-1) (10-21a-1-2) (10-21b-2-3) (10-23a-3-3) (10-24b-3-5)

<sup>6</sup> 岸田 (1997: 85, 134) によれば、当該語は『増訂清文鑑』・『同文類解』・『大清全書』・『滿漢同文全書』・『同文広彙全書』・『滿漢事類集要』・『滿漢類書』のいずれにおいても cananggi と綴られている。また、『同文物名類集』(上-12b)では、滿洲文字および漢字注音はそれぞれ cinenggi および「渣能機」であり、「渣能機」の発音に基づき、cinenggi は cananggi の誤記である可能性が高いとされる。『三譯総解』の当該箇所では cananggi と綴られている。さらに、岸田 (1997: 254) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』の当該箇所の語形はいずれも cananggi である。

<sup>7</sup> 『對音輯字』(上巻第 19 葉 b 面) では、漢字「赤」に対応する滿洲文字は c'y である。一方、『三譯総解』に見られる「赤壁」の滿洲語文語は、滿洲文字表記・ハングル表記のいずれも cibi に対応する形で現れている。岸田 (1997: 256) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』の対応箇所の語形はそれぞれ cibi と c'yi である。

cuwan 「漢語權」 <sup>8</sup> (sun cuwan 「孫權」)	촨	(10-3b-2-3) (10-4b-1-6) (10-4b-2-3) (10-7a-6-2) (10-8a-4-4) (10-19a-2-5) (10-20b-5-4) (10-21a-4-3) (10-21a-6-3) (10-22a-1-1) (10-22a-4-5) (10-22b-6-2) (10-23b-2-2)
dahambi 「付き従う ; 投降する ; 従う」	---	---
dahaduhai <sup>9</sup>	다하두해	(10-24a-2-3)
dahakini	다하키니	(10-3a-2-5)
dahame	다하머	(10-8a-3-8)
dahara	다하라	(10-1a-3-2) (10-3a-1-4) (10-15a-6-6) (10-20a-5-1)
daharakūci	다하라쿠치	(10-19b-5-2)
dahūmbi 「繰り返す」	---	---
dahūci	다후치	(10-4a-2-5)
dahūme	다후머	(10-16a-2-2)
dain 「戦い」	댄	(10-15b-6-7) (10-16b-4-1)
dalbade 「傍らに/で」	달바더	(10-1a-4-3)
daldambi 「隠す」	---	---
daldara	달다라	(10-4a-6-2)
dalimbi 「遮蔽する ; 追い立てる ; 保護する」	---	---
dalihabi	다리하비	(10-25b-6-2)
dalime	다리며	(10-20b-3-7)
dalire	다리러	(10-25a-2-5)
dalin 「岸」	다린	(10-17b-2-1) (10-19b-1-3)
damu 「もっぱら ; ただ ; かし」	다무	(10-15b-3-1)
dasambi 「改める ; 治す ; 治める」	---	---
dasafi	다사피	(10-8a-5-7)
de 「に ; で」	더	(10-1a-6-2) (10-1b-3-2) (10-2a-3-2) (10-2b-1-4) (10-2b-3-6) (10-3a-5-1) (10-3a-6-6) (10-3b-3-1) (10-3b-3-6) (10-3b-5-3) (10-3b-6-7) (10-4b-1-3) (10-4b-1-7) (10-4b-3-4) (10-5a-5-2) (10-6b-2-6) (10-6b-4-4) (10-7a-1-3) (10-7a-4-4) (10-7a-6-7) (10-7b-2-4) (10-8a-1-4)

<sup>8</sup> 『對音輯字』(下巻第37葉b面)では、漢字「權」に対応する満洲文字は kiowan である。一方、『三譯総解』全十巻において「孫權」の満洲文字表記は48例出現しているが、いずれも sun cuwan と綴られている。

<sup>9</sup> 当該語は、『増訂清文鑑』では dahanduhai と綴られている。見出し語 dahanduhai 「隨即」を参照されたい。一方、『大清全書』では dahaduhai と綴られている。見出し語 dahaduhai 「相隨。隨即。旋踵。」を参照されたい。『三譯総解』の当該箇所では dahaduhai と綴られている。なお、岸田(1997:260)によれば、『滿文三国志』・『滿漢合璧三国志』の当該箇所は、それぞれ印刷不鮮明と dahanduhai である。

		(10-8a-2-4) (10-8b-5-2) (10-8b-6-4) (10-9a-2-6) (10-9a-4-1) (10-9b-6-1) (10-9b-6-3) (10-10a-2-3) (10-10a-3-1) (10-10a-5-5) (10-10b-2-6) (10-11a-4-3) (10-11a-5-5) (10-11b-4-1) (10-12a-3-3) (10-12a-4-2) (10-12a-6-3) (10-12b-4-6) (10-12b-6-3) (10-13a-6-4) (10-13b-4-6) (10-13b-6-3) (10-14b-6-6) (10-15a-5-3) (10-15b-6-5) (10-16a-1-1) (10-16a-1-4) (10-16b-2-5) (10-16b-4-2) (10-17a-2-3) (10-17a-2-6) (10-17b-2-2) (10-17b-2-4) (10-18a-5-3) (10-18a-6-6) (10-18b-6-6) (10-19a-3-1) (10-19a-4-10) (10-19b-1-4) (10-19b-2-5) (10-20a-1-7) (10-20a-4-7) (10-20a-5-3) (10-21b-3-2) (10-22a-5-8) (10-22a-6-8) (10-23a-3-5) (10-23b-1-3) (10-24a-5-3) (10-24b-1-6) (10-24b-5-5) (10-24b-6-4) (10-25b-4-7)
dedumbi 「横になる」	---	---
deduhe	더두허	(10-6b-6-1)
den 「高い」	던	(10-25a-6-2)
dere 「顔 ; 机 ; 方」	더리	(10-22a-5-7)
dere 「～であろう」	드리	(10-15b-2-5)
dergi 「上 ; 東」	덜기	(10-8a-2-1) (10-8a-5-4) (10-9a-4-6)
dobori 「夜」	도보리	(10-2b-4-2) (10-3a-6-3) (10-19a-5-3) (10-22a-3-1) (10-24a-5-1)
dolo 「内 ; 心中 ; 腹中」	도로	(10-1a-2-8) (10-1b-5-4) (10-2a-1-4) (10-2a-3-6) (10-5b-6-7) (10-7a-1-6) (10-10a-4-2) (10-26a-4-7)
donjimbi 「聴く」	---	---
donjifi	돈지피	(10-21a-3-7) (10-21b-1-5)
donjhabi	돈지하비	(10-14a-5-4)
doro 「道理 ; 礼儀」	도로	(10-20a-2-3)
doroi 「道理/礼儀の」	도뢰	(10-19b-4-4)
dosimbi 「入る ; 進む ; 進撃する」	---	---
dosifi	도시피	(10-1b-1-1) (10-10b-3-1) (10-13a-6-1) (10-16b-2-6)
dosika	도시카	(10-9a-4-2)
dosimbumbi 「入れる」	---	---
dosimbufi	도심부피	(10-11b-1-1) (10-20b-6-6)
dubede 「先端に/で ; 先(前方)に/で ; 末に」	두버더	(10-21a-6-7) (10-24a-6-3)
dudu 「漢語都督」 (jeo dudu 「周都督」)	두두	(10-25b-2-3)

dzo 「漢語涿」 <sup>10</sup> (dzo jiyūn 「涿郡」)	조	(10-19a-4-8)
dzy 「漢語子」 <sup>11</sup> (dzy lung 「子龍」)  (joo dzy lung 「趙子龍」)	즈	(10-9b-3-4) (10-11b-2-1) (10-12a-1-1) (10-12b-3-4) (10-13a-2-5) (10-18a-2-3) (10-18b-1-1) (10-20b-2-1) (10-24b-5-3) (10-25a-1-1) (10-25b-4-5) (10-26a-2-1) (10-11a-4-6) (10-14a-6-3)
ebšemi 「急ぐ」	---	---
ebšere	업셔러	(10-11a-4-8)
ebumbi 「降りる」	---	---
ebuŋi	어부피	(10-25b-1-2) <sup>12</sup>
ede 「これに因り」	어더	(10-14b-2-3)
efimbi 「遊ぶ」	---	---
efime	어피머	(10-1b-4-4)
ehe 「悪い」	어히	(10-5a-4-1)
ehei 「悪の」	어헤	(10-2a-1-5)
eigen 「夫」	에건	(10-13b-2-2) (10-16a-6-1) (10-17a-1-5) (10-19a-4-1) (10-19b-6-5)
ejen 「君主；主」	어전	(10-4b-5-1) (10-8a-3-1) (10-10a-5-6) (10-10b-2-2) (10-11b-3-1) (10-12b-1-3) (10-12b-5-2) (10-18b-1-4) (10-22b-2-4) (10-25a-1-4) (10-26a-2-4)
ekšemi 「急ぐ」	---	---
ekšeme	억셔머	(10-24a-6-4)
elebumbi 「満足させる」	---	---
elebuŋi	어리부피	(10-6a-3-4)
elemangga 「却って」	어리망가	(10-5a-2-1)
elhe 「安らかな；緩やかな」	얼히	(10-2a-4-2) (10-4a-4-5)
eme 「母」	어머	(10-19a-4-4)
emge 「一つ」 <sup>13</sup>	엄거	(10-26a-6-5)

<sup>10</sup> 『對音輯字』(上卷第12葉b面)では、漢字「涿」に対応する満洲文字はjoである。一方、『三譯総解』において「涿郡」の「涿」(10-19a-4-8)は、dzoに対応する形で現れている。なお、『清語老乞大』における「涿州」の「涿」(6-7a-5-5)も、dzoに対応する形で現れている。

<sup>11</sup> 満洲文字において漢語 c, z, r, s, ch, zh など(便宜上、ここでは漢語音をピンインで表記する)に対応する文字のメレンドルフ式転写については、von Möllendorff (1892) 本文前の THE ALPHABET 表下の For transcribing Chinese syllables および早田 (2008: 32) を参照されたい。なお、早田 (2008: 32) は、メレンドルフ式転写を改良する独自の転写案を提示している。例えば、漢語の z, zi に対応する満洲文字の転写を区別し、それぞれ dz, dzY と転写する。本稿でも早田 (2008: 32) に従って両者を区別するが、後者については dzy と転写する。

<sup>12</sup> 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

<sup>13</sup> 『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも emge に対応する形で現れている。しかし、『満漢合璧三国志』における対応箇所の語形は emke である。岸田 (1997: 261) もこの箇所における『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』間の違いに言及しているが、『満文三国志』における語形の紹介には、一部印刷されていない箇所があるようである。なお、『大清全書』や『増訂清文鑑』などにおいても、当該語は emke と綴られている。

emgeri 「一度；既に」	엄거리	(10-10b-3-5) (10-15a-5-4)
emgi 「一緒に」	엄기	(10-5b-2-4) (10-9a-6-5) (10-12b-3-2) (10-12b-4-4) (10-17a-3-4) (10-17b-1-1) (10-18a-6-4) (10-19a-1-5) (10-20a-1-2) (10-20a-3-3)
emhe 「妻の母；夫の母」 <sup>14</sup>	엄히	(10-19b-6-1)
emhun 「一人で；老いて子のいない」	엄훈	(10-13b-3-4)
emken 「一つ」	엄컨	(10-9b-6-4)
emu 「一」	어무	(10-4a-5-1) (10-9b-3-1) (10-13a-3-7) (10-20a-1-4) (10-24a-1-5) (10-25a-3-3)
encu 「別の」	언츄	(10-13a-2-2) (10-13b-4-4)
enduri 「神」	언두리	(10-10a-4-3) (10-10b-6-7)
enenggi 「今日」	어녕기	(10-19a-6-4)
eniye 「母」	어녀	(10-3b-6-2) (10-13b-5-1) (10-17a-2-2) (10-19b-2-4)
enteheme 「永遠に」	언터허머	(10-7a-1-7)
ere 「この；これ；この人」	어리	(10-4a-2-2) (10-10b-1-1) (10-12a-1-4) (10-16a-6-4) (10-19b-4-1) (10-21b-4-2) (10-22b-5-2) (10-23b-4-8)
ergen 「息；命」	얼건	(10-10a-2-1) (10-26b-1-4)
erhembı 「休む」	---	---
erhendere <sup>15</sup>	얼헌더러	(10-6b-5-3)
etenggi 「強い」	어텡기	(10-23a-5-1) <sup>16</sup>
facambi 「解散する」	---	---
facaha	파차하	(10-21a-1-5)
facuhun 「乱れた；乱れ」	파츄훈	(10-21b-4-7)
fadu 「巾着；鎧の縫合部の覆い」	파두	(10-9b-4-6) (10-10a-1-5) (10-10a-3-3) (10-10b-4-4) (10-10b-6-3) (10-26a-4-5)
fafun 「法律；法度；伝令」	파푼	(10-23a-1-4) (10-25b-2-5)
faidambi 「整列する、並ぶ」	---	---
faidafi	패다피	(10-1a-4-6)
faidaha	패다하	(10-2a-3-7)
faidan 「行列；陣；儀仗」	패단	(10-16b-2-4)

<sup>14</sup> 『清文鑑』では「妻の母」と「夫の母」のいずれも emhe とされている。『増訂清文鑑』では「妻の母」と「夫の母」がそれぞれ emhe と emeke に区別されている。『三譯総解』原書におけるこの emhe は、「夫の母」を意味するものと解される。

<sup>15</sup> 当該語の語幹は、『大清全書』と『増訂清文鑑』のいずれにおいても erge- と綴られている。『大清全書』における見出し語 ergembi 「安。歇。息。憩。」および『増訂清文鑑』における見出し語 ergembi 「安歇」および ergembi 「安息」を参照されたい。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、erhendere に対応する形で現れている。岸田 (1997: 255) によれば、『満洲三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも ergendere である。なお、Yang (2025: 73) は動詞語幹 ergen- を想定し、これに付く未完了連体接辞（原文では nonpast participle suffix 「非過去分詞接尾辞」）には -ndArA と -rA の両形が存在すると述べている。

<sup>16</sup> 『三譯総解』原書におけるこの箇所の etenggi の朝鮮語訳は誤りである（岸田 1997: 259-260）。本稿の jingji の項目の脚注を参照されたい。

fakcambi 「離れる、別れる」	---	---
fakcaha	팍차하	(10-22b-1-4)
fakcaki	팍차키	(10-15b-5-4)
faksalambi 「分ける」	---	---
faksalafi	팍사라피	(10-6a-5-5)
falgambi 「追う」	---	---
falgaha <sup>17</sup>	팔가하	(10-23a-6-1)
falhambi 「追う」	---	---
falhara	팔하라	(10-24b-2-3) (10-24b-6-1) (10-25b-6-5)
fei 「漢語飛」 (jang fei 「張飛」)	페	(10-5b-1-2) (10-6a-5-2) (10-7b-5-5)
fejergi 「下」	퍼절기	(10-15a-1-2)
fejile 「下(に)」	퍼지러	(10-4b-5-6) (10-5b-4-1) (10-16a-3-5)
feser (feser seme 「粉々に」)	퍼슬	(10-22b-1-2)
feye 「傷；巢」	퍼여	(10-16b-3-1)
fik (fik seme 「ぎっしりと」)	픽	(10-1a-4-4)
firgembumbi 「秘密を洩らす」	---	---
firgembure	필검부러	(10-17b-6-3)
fon 「時」	폰	(10-18b-3-6)
fonjimbi 「問う」	---	---
fonjiha	폰지하	(10-11b-1-5)
fonjime	폰지머	(10-24b-5-6) (10-25b-5-1)

<sup>17</sup> 筆者の確認によれば、当該語の語幹は、『大清全書』・『満漢同文分類全書』・『同文類解』・『増訂清文鑑』のいずれにおいても farga- である。『大清全書』における見出し語 fargambi 「追趕。殫。追兵之追也。」、『満漢同文分類全書』における見出し語 fargame amcambi 「追趕」(8-39a-2-1/2)と fargame amcara 「追趕」(13-3b-4-3/4)、『同文類解』における見出し語「감비 / 암참비」(fargambi / amcambi) 「追趕」(1-46a-3-3/4)、『増訂清文鑑』における見出し語 fargambi 「追趕」を参照されたい。

一方、『三譯総解』においては、当該語の語幹は falga-, falha- と綴られている。前者は(10-23a-6-1)における falgaha、後者は(10-24b-2-3), (10-24b-6-1), (10-25b-6-5)における falhara を参照されたい。

岸田 (1997: 260, 261) によれば、『三譯総解』の falgaha に対応する『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の語形はいずれも fargaha であり、『三譯総解』の falhara に対応する『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の語形はいずれも farhara である。

以上を次表のとおりにまとめることができる。表中の『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。

表 2 : farga- およびその異形の出現例

	farga-	farha-	falga-	falha-
『大清全書』	fargambi 「追趕。殫。追兵之追也。」	---	---	---
『満漢同文分類全書』	fargame amcambi 「追趕」 fargame amcara 「追趕」	---	---	---
『増訂清文鑑』	fargambi 「追趕」	---	---	---
『同文類解』	fargambi 「追趕」	---	---	---
『三譯総解』	---	---	falgaha	falhara
『満文三国志』	fargaha	farhara	---	---
『満漢合璧三国志』	fargaha	farhara	---	---

なお、岸田 (1997: 86) は、『増訂清文鑑』・『同文類解』・『大清全書』・『満漢同文全書』・『同文広彙全書』・『満漢同文分類全書』における語幹形はいずれも farga- であり、『無圈点字書』における語幹形は FARKA- であることを指摘している。

forombi 「向く ; 振り向く ; 紡ぐ」	---	---
forofi	포로피	(10-24b-3-3)
fudasihūn 「悖理した ; 逆の」	푸다시훈	(10-14a-1-3)
fujin 「福晋(王や貝勒の妻、夫人)」  (sun fujin 「孫夫人」)	푸진	(10-1b-2-2) (10-1b-6-3) (10-2a-3-1) (10-2b-6-1) (10-2b-6-5) (10-12b-2-5) (10-12b-4-2) (10-13b-1-3) (10-14b-4-2) (10-15a-3-1) (10-15b-1-4) (10-15b-3-8) (10-15b-4-2) (10-16a-1-5) (10-16a-4-2) (10-17a-6-1) (10-18a-6-2) (10-1a-2-4) (10-2a-5-2) (10-2b-4-5) (10-13a-6-3) (10-14a-4-3) (10-15a-4-2) (10-16a-5-2) (10-17a-1-2) (10-19a-1-3) (10-19a-3-4) (10-20a-2-7) (10-20a-4-4) (10-21a-3-3)
fulibumib 「形をなす」	---	---
fuliburakū	푸리부라쿠	(10-25b-4-1)
funcembi 「余る」	---	---
funceme	푼쳐머	(10-8b-3-5)
fusihūlabumbi 「軽蔑される」	---	---
fusihūlabume	푸시후라부머	(10-5b-4-3)
gabtambi 「射る」	---	---
gabtame	갇타머	(10-9b-1-5)
gaibumbi 「取らせる ; 取られる ; 消息を探らせる ; 負ける」	---	---
gaibuha	개부하	(10-14b-6-5)
gaimbi 「とる」	---	---
gaifi	개피	(10-20a-6-7) (10-20b-3-4) (10-22a-6-6) (10-23b-6-1) (10-24a-2-2)
gaiha	개하	(10-2b-5-2)
gaime	개머	(10-12a-4-5) (10-24a-3-6)
gaitai 「突然」	개태	(10-9b-3-6)
gajimbi 「持って/取って/連れてくる ; 取り/連れに来る」 <sup>18</sup>	---	---
gajifi	가지피	(10-21b-2-6) (10-23b-3-7)
gaju	가쥬	(10-22a-4-2)
gala 「手」	가라	(10-23b-1-4)
gamambi 「持って/取って/連れていく」	---	---
gamame	가마머	(10-18a-4-6)
ganjimbi 「持って/取って/連れてくる ; 取り/連れに来る」	---	---

<sup>18</sup> gaji- の意味に関しては、早田 (1993) を参照されたい。

ganjime <sup>19</sup>	간지머	(10-23b-6-2)
gašan 「村」	가산	(10-13b-4-5)
gecuheri 「(漢訳)蟒緞；錦」	거추허리	(10-8b-4-5)
gege 「姉」	거거	(10-1b-2-3) (10-23a-6-3)
gegei 「姉の」	거게	(10-1b-6-4)
gelgun <sup>20</sup>	결군	(10-14b-4-7) (10-23a-1-1)
geli 「また」	거리	(10-5b-2-1) (10-8b-3-1) (10-21a-4-4) (10-23a-4-1)
gemu 「皆」	거무	(10-2b-2-2) (10-19a-4-7) (10-21a-1-4) (10-23a-5-6) (10-26a-4-4) (10-26a-6-1)
genembi 「行く」	---	---
geneci	거너치	(10-17b-3-2) (10-21a-4-1)
genecibe	거너치며	(10-15a-6-4)
genefi	거리피	(10-15b-6-6) (10-17b-2-7) (10-19b-1-5) (10-20a-1-3)
genehe	거너허	(10-16a-3-6) (10-20a-3-6) (10-24a-2-5)
genehei	거너헤	(10-24a-6-6)
geneki	거너키	(10-15a-2-2)
generakūci	거너라쿠치	(10-14b-6-1)
genere	거너러	(10-12b-6-2) (10-18a-6-9) (10-25a-4-5) (10-26a-1-1)
genggiyen 「清い；聡明な」	경견	(10-7a-2-1)
geren 「多くの；すべての；衆人」	거런	(10-6a-6-1) (10-21a-2-5) (10-23a-5-3)
gese 「～のような」	거서	(10-5b-1-5) (10-16b-6-4)
gida 「槍」	기다	(10-1a-3-5) (10-1b-5-6)
gidambi 「押さえる；隠す；打ち負かす；頭を垂れる；塩漬けにする；鳥が卵を抱く」	기담비	(10-14b-5-1)
gidara	기다라	(10-14a-5-2)
ging 「漢語更(初更などの更)」	깁	(10-21a-6-5) (10-24a-6-1)
ginggulembi 「敬う」	---	---
gingguleme	깁구러머	(10-3b-1-4)
giran 「死体」	기란	(10-19a-4-6)
gisun 「言葉」	기순	(10-2b-5-5) (10-7a-4-1) (10-9a-2-1) (10-16a-6-7) (10-19b-4-6)
giyang 「漢語江」	깁	(10-17b-1-5) (10-19b-1-1)
goidambi 「久くなる」	---	---

<sup>19</sup> 岸田 (1997: 260) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも *gajime* である。

<sup>20</sup> 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても *gelhun* と綴られている。なお、岸田 (1997: 257, 259) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所の語形は、それぞれ *gelgun* と *gelhun* である。성백인 (1984: 27) によれば、『三譯総解』における *towa* 「火」、*labdo*、*gelgun akū*、*targū* は主として順治初年以前の文献に見られるものである。

goidaha	괴다하	(10-25b-3-1)
goidame	괴다머	(10-5b-4-2)
golombi 「驚く」	---	---
golofi	고로피	(10-4a-4-2) (10-24b-5-2) (10-25b-4-2)
goloho	고로호	(10-11b-2-3) (10-11b-6-4)
goro 「遠い」	고로	(10-6a-6-5)
gosiholombi 「慟哭する；苦しむ」	---	---
gosiholome	고시호로머	(10-17a-2-4)
gosimbi 「慈しむ、愛する；疼く」	---	---
gosiha	고시하	(10-16a-4-4)
gosime	고시머	(10-15b-5-1)
gu 「玉」	구	(10-8b-4-3) (10-22a-6-2)
gung 「漢語公」 (ejen gung 「主公」)  (genggiyen gung 「明公」) (gung jin 「公瑾」) (guwan gung 「關公」)	궁	(10-4b-5-2) (10-8a-3-2) (10-10b-2-3) (10-11b-3-2) (10-12b-1-4) (10-12b-5-3) (10-22b-2-5) (10-25a-1-5) (10-26a-2-5) (10-7a-2-2) (10-7b-1-5) (10-8a-3-3) (10-7b-5-3)
gurun 「国」	구룬	(10-5b-6-5) (10-8a-2-3)
guwan 「漢語関」 (guwan gung 「關公」) (guwan ioi 「關羽」)	관	(10-7b-5-2) (10-5a-6-4) (10-6a-4-3)
gūnimbī 「思ふ」	---	---
gūni	구니	(10-18b-2-3)
gūnici	구니치	(10-15b-5-2)
gūnifi	구니피	(10-4a-5-4) (10-10b-6-2)
gūnihakū	구니하쿠	(10-4a-1-5) (10-5a-2-5)
gūniki	구니키	(10-17b-5-4)
gūnime	구니머	(10-9b-4-1) (10-19a-6-2)
gūnirakū	구니라쿠	(10-16a-4-7)
gūnirakūn	구니라쿤	(10-11b-5-1)
gūnire	구니러	(10-7a-3-2)
gūnin 「心；意；考え」	구닌	(10-6a-1-7) (10-7b-2-3) (10-9a-3-1) (10-13a-2-3)
hacihiyambi 「急ぐ；酒食を強引に勧める」	---	---
hacihiyame	하치야머	(10-24a-4-1)
hadala 「轡」	하다라	(10-24a-3-3)
hafasa 「諸官」	하파사	(10-18b-6-3) (10-21a-1-3) (10-21b-2-4)

hafirabumbi 「追い詰められる」	---	---
hafirabuhabi	하피라부하비	(10-12b-1-1) (10-14b-1-1)
haha 「男」	하하	(10-16b-2-3)
hamimbi 「殆ど足りる ; 殆ど～に近い ; 耐えられる」	---	---
hamika	하미카	(10-9b-3-3) (10-10a-1-2) (10-10b-2-1)
hanci 「近い」	한치	(10-14a-2-4)
haggabumbi 「塞がる」	---	---
haggabuha	항가부하	(10-10a-2-6)
hebešembi 「相談する、協議する」	---	---
hebešehe	허버셔허	(10-5a-1-2) (10-12b-4-5)
hebešeki	허버셔키	(10-12b-3-3)
hebešere	허버셔러	(10-21b-3-1)
hebušembi 「相談する、協議する」	---	---
hebušeme <sup>21</sup>	허부셔머	(10-18a-1-3)
hecen 「城」	허천	(10-9b-1-1) (10-18a-4-7) (10-20a-6-8)
hehei 「女の」	허혜	(10-10b-2-4)
hehesi 「女たち」	허허시	(10-1a-3-3) (10-1b-3-5) <sup>22</sup>
hendumbi 「言う」	헌뎀비	(10-11b-6-6) (10-15b-2-4)
hendufi	헌두피	(10-13a-4-6)
henduhengge	헌두헝거	(10-3b-5-4) (10-4b-3-5)
hendume	헌두머	(10-1b-1-2) (10-1b-6-2) (10-2a-6-1) (10-7b-1-4) (10-11b-2-6) (10-11b-5-3) (10-12a-1-3) (10-12b-2-4) (10-12b-4-1) (10-13a-1-2) (10-13b-2-1) (10-13b-3-2) (10-14a-4-4) (10-14b-4-1) (10-15a-4-3) (10-15b-1-3) (10-16a-5-3) (10-16b-2-1) (10-16b-5-2) (10-17a-1-4) (10-17a-4-2) (10-17b-4-2) (10-18a-3-1) (10-18b-1-3) (10-19a-3-5) (10-19b-3-3) (10-21b-3-5) (10-22a-2-5) (10-22b-2-3) (10-22b-6-3) (10-23a-2-3) (10-25a-1-3) (10-25a-3-1) (10-26a-2-3)
hengkilembi 「叩頭する」	---	---
hengkilehe	헝키러허	(10-19a-3-2)
hengkileme	헝키러멤	(10-4b-6-2)
heo 「漢語侯」	호	

<sup>21</sup> 当該動詞の語幹が清代諸辞書における形式は岸田 (1997: 86-87) を参照されたい。また、岸田 (1997: 217-218, 231) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応語幹における語形はいずれも hebše- である。

<sup>22</sup> 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

(u heo 「呉侯」)		(10-15b-3-5) (10-17a-5-4) (10-18b-5-3)
hiowande 「漢語玄德」	환더	(10-1a-2-2) (10-1a-5-1) (10-1b-6-1) (10-2b-4-3) (10-2b-5-3) (10-3a-1-3) (10-8b-5-1) (10-8b-6-1) (10-11a-2-4) (10-11a-4-2) (10-11a-6-1) (10-11b-5-2) (10-12b-2-3) (10-13a-1-1) (10-13a-3-2) (10-13a-5-1) (10-13b-3-1) (10-14b-3-1) (10-15b-1-2) (10-16b-1-2) (10-17a-4-1) (10-17b-4-1) (10-18a-2-1) (10-19a-1-1) (10-20a-3-1) (10-20a-4-2) (10-20a-5-8) (10-21a-3-1) (10-22a-5-4) (10-24a-3-2) (10-24b-3-1) (10-24b-5-1) (10-25b-3-2)
hiyoošulambi 「孝行する」	---	---
hiyoošulame	호슈라머	(10-13b-5-3)
hiyoošun 「孝行(漢語孝順)」 <sup>23</sup>	호순	(10-14a-1-4) (10-19b-4-2)
hojihon 「婿」	호지혼	(10-2a-4-1)
hokombi 「離れる；妻を離縁する」	---	---
hokome	호코머	(10-15a-3-3)
holimbumbi 「惑わされる」	---	---
holimbufi <sup>24</sup>	호림부피	(10-9a-1-3)
holtombi 「騙す」	홀툼비	(10-4a-1-1) (10-5a-3-1)
holtošombi 「常に騙す」 <sup>25</sup>	---	---
holtošoro	홀토쇼로	(10-2b-6-3)
horimbi 「監禁する」	---	---
horifi	호리피	(10-5b-6-8)
horonggo 「威力/威勢のある」	호룽고	(10-23a-4-2)
huthubumbi 「縛られる」	---	---
huthubu	홀후부	(10-25b-1-3)
hutu 「幽霊」	후투	(10-10a-4-4)
hūdun 「速い」	후둔	(10-8a-4-1) (10-12b-2-1) (10-21b-6-2) (10-25b-1-1)

<sup>23</sup> 『五體清文鑑譯解』(田村ほか1966-1968) 上巻 303 頁には「hiyoošun 孝. 孝行の音譯。」との記述がある。しかし、hiyoošun は漢語の「孝行」ではなく、「孝順」に由来すると考えられる。Schmidt (1933: 259) も、hiyoošun の語源は漢語の「孝順」であることに言及している。

<sup>24</sup> 当該語の語幹は、『大清全書』と『増訂清文鑑』のいずれにおいても hūlimbu- と綴られている。『大清全書』における hūlimbuha 「被惑之。被迷之。」などの見出し語および『増訂清文鑑』における見出し語 hūlimbumbi 「被人惑」を参照されたい。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、holimbufi に対応する形で現れている。岸田 (1997: 256) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも hūlimbufi である。

<sup>25</sup> この語 holtošombi は『大清全書』や『増訂清文鑑』には収録されていないが、次の辞書に収録されている。

von der Gabelentz (1864: 102) : 「betrügen.」(だます)。

Hauer (2007: 237) : 「gehörig betrügen.」(大いにだます)。

福田 (2008: 433) : 「常に偽る<U>。大いにだます。したたかにあざむく」。この箇所における「<U>」は、福田 (2008) 序文 2 頁の説明では「上原久 満和にない語のメモ」という出典を表す。

Norman (2013: 179) : 「to deceive often」(頻繁に騙す)。

郭秀昌・何榮偉 (2020: 487) : 「常常撒謊。」(頻繁に嘘をつく)。

hūlambi 「読む；呼ぶ；雄鶏が鳴く」	---	---
hūlafi	후라피	(10-18a-2-6)
hūlame	후라머	(10-11a-6-2) (10-23b-3-6) (10-25a-6-5)
hūlhambi 「盗む」	---	---
hūlhame 「密かに」	홀하머	(10-13a-6-6) (10-18a-2-2)
i 「の；で」	이	(10-1a-2-5) (10-1a-2-7) (10-2a-2-5) (10-2a-3-5) (10-2b-5-6) (10-3a-4-6) (10-4b-5-5) (10-5b-3-3) (10-5b-5-2) (10-5b-6-6) (10-7a-1-5) (10-7b-1-7) (10-8a-3-5) (10-9a-1-2) (10-9a-5-2) (10-9b-1-2) (10-10a-4-5) (10-11a-2-5) (10-11a-3-5) (10-12b-3-1) (10-12b-4-3) (10-15b-2-1) (10-15b-3-7) (10-16a-4-3) (10-17b-1-3) (10-18a-6-3) (10-18b-2-6) (10-18b-4-3) (10-19a-1-4) (10-19a-2-6) (10-19a-4-2) (10-19b-4-3) (10-20a-1-1) (10-20a-2-2) (10-20a-3-2) (10-20b-6-2) (10-21a-3-4) (10-23b-5-2) (10-23b-5-5) (10-24b-1-4) (10-25a-3-5) (10-25a-3-8) (10-25a-6-4) (10-25b-2-4) (10-25b-2-6) (10-26a-3-5) (10-26a-4-6)
ice 「新しい」	이쳐	(10-18a-3-4) (10-18b-4-8)
ilaci 「第三」	이라치	(10-10a-3-2)
ilan 「三」	이란	(10-9b-4-5) (10-26a-4-2)
ilga 「花」 <sup>26</sup>	일가	(10-8a-6-1)
ilibumbi 「立たせる；立てる；止める」	이리븨비	(10-17a-5-6)
ilimbi 「立つ；起きる；止まる；休む」	---	---
ilici	이리치	(10-4a-4-4)
ilifi	이리피	(10-24a-6-5) (10-25a-5-1)
ilihabi	이리하비	(10-1a-4-7) <sup>27</sup>
inenggi 「日」	이녕기	(10-3a-6-2) (10-8a-5-3) (10-10b-3-4) (10-11a-2-3) (10-17b-1-4) (10-18a-4-1) (10-18b-5-1) (10-19a-5-2) (10-20b-5-2) (10-22a-3-2)
inenggidari 「毎日」	이녕기다리	(10-9a-6-6)
ini 「彼の；彼女の」	이니	(10-3a-5-4) (10-8b-2-1)
injembu 「笑う」	---	---
injeme	인져머	(10-2a-5-3)
ioi 「漢語瑜」	위	

<sup>26</sup> 当該語は『増訂清文鑑』では *ilha* と綴られている。*ilha* 「花」などの見出し語を参照されたい。『大清全書』には *ilga* と *ilha* の両綴りが収録されている。見出し語 *ilga* 「花。」や *ilha sirdan moro* 「大花碗。」などを参照されたい。

<sup>27</sup> 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

(jeo ioi 「周瑜」)		(10-3b-3-5) (10-3b-4-2) (10-4a-3-3) (10-4b-5-8) (10-9a-3-4)
ioi 「漢語羽」 (guwan ioi 「関羽」)	위	(10-5a-6-5) (10-6a-4-4)
isabumbi 「集める；髪を編ませる」	---	---
isabuha	이사부하	(10-18b-6-7)
ishunde 「互いに」	잇훈더	(10-2a-6-5)
isimbi 「足りる；至る、及ぶ、届く」	---	---
isifi	이시피	(10-10a-2-4)
isika	이시카	(10-26b-1-6)
isirakū	이시라쿠	(10-12b-6-4)
isinambi 「着く、至る」	---	---
isinaha	이시나하	(10-9b-6-2) (10-24b-1-7)
isinjimbi 「到来する」	---	---
isinjiha	이신지하	(10-24b-2-5) (10-24b-6-3)
jabumbi 「答える」	---	---
jabume	자부머	(10-17a-6-2)
jafabumbi 「取らせる；掴ませる；逮捕させる」	---	---
jafabufi	자파부피	(10-1b-4-3) (10-20a-5-7)
jafambi 「取る；掴む；捕らえる、逮捕する；氷が張り詰める；交わりを結ぶ」	---	---
jafafi	자파피	(10-22a-4-1)
jafarakū	자파라쿠	(10-22b-5-6)
jai 「第二；再び；更に」	재	(10-3a-3-4) (10-5b-1-7) (10-10a-1-4) (10-10b-4-3) (10-16a-2-1) (10-24a-5-6) (10-26a-6-4)
jaka 「物；隙間；所；～たばかり」	자카	(10-20a-5-5)
jakade 「～の所に/で；～ので」	자카더	(10-2b-6-4) (10-11a-3-1) (10-13b-1-2) (10-14a-3-2) (10-22b-1-1)
jalukiyambi 「数に満たず」	---	---
jalukiyame	자루카머	(10-8b-1-6)
jang 「漢語張」 (jang fei 「張飛」) (jang joo 「張昭」)	장	(10-5b-1-1) (10-6a-5-1) (10-7b-5-4) (10-7a-6-5) (10-7b-1-2) (10-21b-3-3)
jang 「漢語璋」 (pan jang 「潘璋」)	장	(10-22a-2-2) (10-22b-4-5)

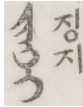
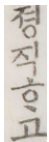
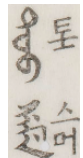
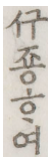
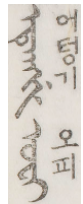
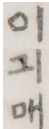
jang 「漢語蔣」 <sup>28</sup> (jang cin 「蔣欽」)	장	(10-23b-3-1) (10-24a-1-1)
jase 「辺境」	자서	(10-24b-1-5)
jembi 「我慢する」	---	---
jenderakū 「心に忍びず」	전더라쿠	(10-23b-1-6)
jenduken 「いくらかひそひそと」	전두켄	(10-5b-6-3)
jeo 「漢語州」 (jing jeo 「荊州」)	조	(10-3a-4-10) (10-9a-2-5) (10-11b-4-4) (10-12a-6-2) (10-12a-6-7) (10-14a-6-7) (10-14b-6-4) (10-15b-6-4)
jeo 「漢語周」 (jeo dudu 「周都督」) (jeo ioi 「周瑜」)  (jeo tai 「周泰」)	조	(10-25b-2-2) (10-3b-3-4) (10-3b-4-1) (10-4a-3-2) (10-4b-5-7) (10-9a-3-3) (10-23b-3-3) (10-24a-1-3)
jergi 「階級；類い；回；凡庸な」	절기	(10-13a-4-2) (10-20a-1-5)
jilgan 「声；音」	질간	(10-8b-6-3) (10-25a-6-3)
jili 「怒り」	지리	(10-22a-5-2) (10-22b-3-3) (10-23b-2-4)
jimbi 「来る」	---	---
jifi	지피	(10-10b-1-3) (10-12a-6-5) (10-14a-6-5) (10-19a-2-1) (10-25a-4-4) (10-25b-2-8)
jihe	지허	(10-11b-1-2)
jio	조	(10-23b-6-3)
jin 「漢語瑾」 (gung jin 「公瑾」)	진	(10-7b-1-6) (10-8a-3-4)
jing 「常々、只管(漢語浄)」	징	(10-13a-3-6)
jing 「漢語荊」 (gung jin 「荊州」)	징	(10-3a-4-9) (10-9a-2-4) (10-11b-4-3) (10-12a-6-1) (10-12a-6-6) (10-14a-6-6) (10-14b-6-3) (10-15b-6-3)

<sup>28</sup>『對音輯字』(下卷第35葉b面)では、漢字「蔣」に対応する満洲文字は jiyang である。一方、『三譯総解』の当該箇所において「蔣」を表す語は、jang の形式で現れている。なお、岸田(1997: 260)によれば、『満文三國志』および『満漢合璧三國志』における対応箇所の語形は、それぞれ jang と jiyang である。

jingji 「重厚な；貴人の子が重い」 <sup>29</sup>	징지	(10-23a-4-3)
jiyan 「漢語建」 (jiyan nan 「建安」)	잔	(10-18b-4-1)
jiyangjiyün 「漢語將軍」 <sup>30</sup>	장권	(10-5b-1-6) (10-6a-6-2) (10-22b-4-7) (10-23a-5-4) (10-23a-6-2) (10-25a-6-1)
jiyün 「漢語軍」 (jiyün sy 「軍師」)	권	(10-18b-2-4) (10-26a-3-3) (10-26b-1-2)
jiyün 「漢語郡」 (dzo jiyün 「涿郡」) (ts'ai ts'ang jiyün 「柴桑郡」)	권	(10-19a-4-9) (10-3b-2-6) (10-24b-1-3)
jobolon 「憂い；災難；喪」	조보론	(10-8a-2-6) (10-21b-5-1)
jobombi 「苦勞する；憂える」	조봄비	(10-15a-3-7)
jobome	조보머	(10-13b-2-5)
joboro	조보로	(10-17a-1-7) (10-26a-3-1)
joo 「漢語昭」 (jang joo 「張昭」)	쵸	(10-7a-6-6) (10-7b-1-3) (10-21b-3-4)

<sup>29</sup> 当該の jingji は『三譯総解』において geli horonggo jingji too seme etenggi ofi という文脈に出現している。『三譯総解』原書における朝鮮語訳は「또엄고정직고고우중호여이기매」である。岸田（1997:259-260）によれば、漢文『三国志通俗演義』嘉靖本・李卓吾本および『滿漢合璧三国志』の当該箇所は「嚴毅剛正」である。岸田は当該の朝鮮語訳に見られる複数の問題点を指摘している。筆者は岸田の指摘を次表のとおり整理した。

表3：『三譯総解』 geli horonggo jingji too seme etenggi ofi の問題点

	『三譯総解』原書における 満洲文字表記の満洲語と ハングル表記の満洲語	『三譯総解』原書に おける朝鮮語訳	岸田が指摘している問題点
[1]			『三譯総解』では jingji を「정직하고」(正直で)と訳しており、『同文類解』(1-21a-9-2)においても満洲語の jingji に対応する漢語は「正直」である。しかし、本箇所の jingji は「重く、重々しく」などの意である。
[2]			『三譯総解』の当該箇所における too は tob の誤記である。『滿文三国志』・『滿漢合璧三国志』の当該箇所の満洲語は tob である。too に対応する朝鮮語訳「우중호여」も、この誤記に基づくものである。
[3]			『三譯総解』のこの箇所では、etenggi を「이기-」(勝つ)と訳している。しかし、etenggi は「強い」を意味し、「勝つ」を意味する語は etembi である。一方、筆者の確認によれば、『三譯総解』の他の箇所(3-12b-1-3), (8-10b-4-6)における etenggi の朝鮮語訳は適切である。

<sup>30</sup> 当該語は『増訂清文鑑』では jiyanggiyün と綴られている。『大清全書』には jiyanggiyün と jiyangjiyün の両綴りが収録されている。なお、『大清全書』には ilhi jiyangciyün 「副將軍。」という語も収録されており、jiyangciyün の語形が見られるが、誤記である可能性が高い。

joo 「漢語趙」 (joo dzy lung 「趙子龍」) (joo yūn 「趙雲」)	쑤	(10-11a-4-5) (10-14a-6-2) (10-9a-4-4)
jugūn 「道」	규군	(10-10a-2-5) (10-18a-5-2) (10-24a-5-2) (10-25a-4-6) (10-26a-1-2)
jug'oliyang 「漢語諸葛亮」	쥬고량	(10-5b-2-2)
jui 「子」	쥬	(10-23a-2-6)
juleri 「南(に) ; 前(に)」	쥬리리	(10-9a-5-3)
julesi 「南(に) ; 前に」	쥬리시	(10-25a-1-6) (10-25b-5-2) <sup>31</sup>
jurambi 「出発する」	---	---
juraka	쥬라카	(10-20b-4-3)
jurcemi 「違背する」	쥬침비	(10-23a-1-6)
juse 「子供達 ; 子供」 <sup>32</sup>	쥬서	(10-2b-3-2) (10-3a-2-2) (10-7b-3-7) (10-8b-4-1) (10-11a-4-1)
juwan 「十」	쥬완	(10-8b-3-4) (10-20a-6-4)
juwe 「二」	쥬위	(10-1a-4-2) (10-18a-1-1) (10-22b-4-6) (10-23b-4-6) (10-25a-5-2) (10-26a-5-2)
kadalambi 「管轄する」	---	---
kadalara	카다라라	(10-1a-6-5)
kai 「指定や断定の終助詞」	캐	(10-14a-2-1) (10-14b-2-5) (10-16a-4-8) (10-17a-5-7) (10-20a-2-5) (10-23b-1-7)
kambi 「囲む ; 遮る」	---	---
kame	카머	(10-25a-4-8)
karu 「報い」	카루	(10-12a-4-4)
kicemi 「努力する」	---	---
kiceme	키쳐머	(10-22a-3-4)
korsombi 「悔恨する ; 恨む」	콜숨비	(10-14a-4-1)
korsofi	콜소피	(10-12a-4-3)
kungming 「漢語孔明」	쿵밍	(10-7b-5-1) (10-9a-1-4) (10-9b-4-2) (10-12a-2-2) (10-26a-3-2)
lefui 「熊の」	리퓌	(10-5b-1-4)
liobei 「漢語劉備」	리베 <sup>33</sup>	(10-3b-6-6)
	리베	(10-5a-5-1) (10-5b-6-1) (10-7b-6-3) (10-13b-3-3) (10-14a-3-3) (10-14b-5-2) (10-15a-1-4) (10-15b-4-3) (10-15b-6-2) (10-16a-3-1) (10-21b-1-1) (10-23b-5-7) (10-25a-6-6)
loho 「腰刀」	로호	(10-1a-3-4) (10-1b-4-2) (10-1b-5-5) (10-2b-3-3) (10-23b-4-2) (10-23b-5-1)

<sup>31</sup> 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

<sup>32</sup> 早田 (1988: 16) によれば、『満文金瓶梅』における juse は、しばしば一人の「子供」を指す。したがって、本稿では「子供達」という訳に加えて、「子供」という訳も併記している。なお、筆者が調査した満洲語三家子方言においても、juse が一人の「子供」を指す用法が確認されている。

<sup>33</sup> 原書の当該箇所では、「리베」ではなく「리베」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

lung 「漢語龍」 (dzy lung 「子龍」)  (joo dzy lung 「趙子龍」)	룽	(10-9b-3-5) (10-11b-2-2) (10-12a-1-2) (10-12b-3-5) (10-13a-3-1) (10-18a-2-4) (10-18b-1-2) (10-20b-2-2) (10-24b-5-4) (10-25a-1-2) (10-25b-4-6) (10-26a-2-2) (10-11a-4-7) (10-14a-6-4)
mafari 「祖先たち」	마파리	(10-13b-6-2) (10-17b-2-3) (10-18a-6-5) (10-19a-4-5)
maktambi 「投げる；賞賛する」	---	---
maktara	막타라	(10-22a-6-9)
mama 「父の母；女性祖先；老婆」	마마	(10-1a-6-6) (10-2a-2-6)
manggi 「～た後」	망기	(10-10a-1-3) (10-11a-3-3) (10-21a-2-4)
marambi 「遠慮する；拒む；強く主張する」	---	---
marambe	마라머	(10-3b-6-3) <sup>34</sup>
maribumbi 「戻す」	---	---
maribufi	마리부피	(10-25b-4-4)
mejige 「消息」	머지거	(10-3a-4-7)
meni (meni meni 「各々」)	머니	(10-6a-6-7) (10-6b-1-1)
mentuhun 「愚かな」	먼투훈	(10-5b-5-1)
mergese 「賢者たち、智者たち」	멀거서	(10-16a-2-4)
micihyan 「浅い」	미치한	(10-16a-4-6)
mimbe 「私を」	میمبه	(10-9b-5-2) (10-17a-3-1)
minde 「私に」	민더	(10-9b-4-3) (10-13a-2-1) (10-14a-4-6)
mingga 「千」 <sup>35</sup>	밍가	(10-24a-1-6)
mini 「私の」	미니	(10-2a-1-3) (10-3b-6-1) (10-7b-2-2) (10-19a-3-6) (10-23a-1-3) (10-23b-5-3)
moo 「樹木；木材；棒」	모	(10-8a-6-2)
morin 「馬；午」	모린	(10-20a-6-1) (10-25a-6-7) (10-25b-4-3)
moringga 「乗馬した(人)」	모링가	(10-20a-6-5)
muduri 「龍；辰」	무두리	(10-6b-6-2)

<sup>34</sup> 『増訂清文鑑』における marambi の漢訳は「推辭」である。『清文彙書』(8-7a-3-1)における marambi の漢訳は「倔強之強。拒。莫。辭乃不領不受也。」である。『滿和辭典』(羽田 1937: 300) はこれらの記述に基づき、marambi を「遠慮する。辭退する」および「拒む」と和訳している。

しかし、『三譯総解』(10-3b-6-3)における marambe は、mini eniye marambe non be liobei de buhe という文脈に出現しており、ここの marambe に対応する『滿漢合璧三国志』の漢訳は「力主(強く主張する)」である。marambi のこの意味は、『増訂清文鑑』・『清文彙書』・『滿和辭典』などには見られない。

一方、『大清全書』における marambi の漢訳は「辭了。用力主張。拒。」であり、このうちの「用力主張」が上記の「力主」の用法に対応するものと考えられる。

<sup>35</sup> 当該語は『増訂清文鑑』では minggan と綴られている。一方、『大清全書』では mingga と綴られている。『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、mingga に対応する形で現れている。なお、岸田(1997: 260)によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも minggan である。

mujilen 「心」	무지런	(10-3a-2-4) (10-6a-5-3) (10-15b-2-2)
muke 「水」	무커	(10-13a-6-8) (10-16b-5-5)
musei 「私たち(包括的)の」	무세	(10-6b-4-5) (10-23a-2-4)
mutembi 「できる」	---	---
mutehekū	무터허쿠	(10-13b-5-4)
mutehekūngge	무터허쿱거	(10-14a-1-1)
na 「地」	나	(10-22a-6-7)
nakambi 「やめる」	---	---
nakarakū	나카라쿠	(10-19a-6-3)
nan 「漢語南」 (nan sioi 「南徐」)	난	(10-9b-5-3) (10-20b-3-8)
nan 「漢語安」 <sup>36</sup> (jiyan nan 「建安」)	난	(10-18b-4-2)
neimbi 「開く」	---	---
nei	네	(10-9b-6-6) (10-10a-1-7) (10-10a-3-5)
neifi	네피	(10-3b-4-5) (10-4b-3-1) (10-10b-5-2) (10-26a-5-5) (10-26b-2-1)
neime	네머	(10-10b-6-5)
nemembi 「増す」	---	---
nememe 「ますます ; 却って」	너머머	(10-5a-4-3)
nenembi 「先行する」	---	---
nenehe 「先の」	너너히	(10-18b-1-6)
neneme 「先に」	너너머	(10-3a-4-4) (10-18a-4-3) (10-19a-1-6) (10-26a-5-1)
ni 「疑問・感動の終助詞」	니	(10-2b-1-7)
ni 「の ; で」	니	(10-4b-5-3) (10-5b-2-3) (10-7a-2-3) (10-9a-1-5) (10-12a-2-3) (10-17b-1-6) (10-19b-1-2) (10-21a-6-6) (10-24a-6-2)
nirumbi 「描く」	---	---
niruha	니루하	(10-7b-3-2) (10-11b-3-5)
niyakūrambi 「跪く」	---	---
niyakūrafī	냐쿠라피	(10-14b-3-2)
niyalma 「人」	날마	(10-1b-1-4) (10-3b-3-2) (10-4b-1-2) (10-5b-3-2) (10-5b-4-5) (10-6b-5-2) (10-11a-5-4) (10-12a-2-5) (10-15a-1-3) (10-15a-5-2) (10-16b-4-4) (10-20b-3-2) (10-21b-4-3) (10-22b-5-3) (10-24b-2-1)
niyalmai 「人の」	날매	(10-9a-6-4)

<sup>36</sup>『三譯総解』の当該箇所では、「建安」の満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、jiyan nan に対応する形で表れている。一方、岸田 (1997: 258) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも jiyan an である。nan の形式については、岸田 (1997: 76-79) と王海波 (2026c: 61) の脚注 34 を参照されたい。

niyamniyambi 「騎射する」	---	---
niyamniyame	남냐머	(10-9b-1-6)
nofi 「人の助数詞」	노피	(10-18a-1-2) (10-23b-4-7)
non 「妹」	논	(10-3b-6-4) (10-8b-2-2) (10-23b-5-4)
obumbi 「する」	---	---
obufi	오부피	(10-6a-6-6)
obuki	오부키	(10-7b-6-1)
okson 「歩み、一歩」	옥손	(10-25b-3-3)
olhombi 「乾く ; 恐れる」	올홈비	(10-2b-1-6) (10-23a-5-7)
olhoro	올호로	(10-1b-2-1)
ombi 「なる」	옴비	(10-6b-3-5) (10-8a-2-7) (10-10a-6-3) (10-16b-4-7) (10-20a-2-4)
oci	오치	(10-5a-4-6) (10-25b-5-3) (10-25b-6-4)
ofi	오피	(10-1b-3-4) (10-1b-5-2) (10-4a-4-7) (10-9a-5-7) (10-15a-3-5) (10-21a-4-7) (10-23a-5-2)
oho	오호	(10-3b-1-5) (10-15a-5-6) (10-26a-6-3)
ohode	오호더	(10-6b-1-4) (10-17b-4-5)
ojoro	오쥬로	(10-5a-2-3) (10-5a-4-5) (10-14a-3-1)
ombio	옴빈	(10-19b-5-3)
otolo	오토로	(10-2a-6-4)
omimbi 「飲む」	---	---
omime	오미머	(10-3a-6-4)
omo 「池」	오모	(10-7a-1-4)
on 「道程」	온	(10-24a-3-5)
onggobumbi 「忘れさせる」	---	---
onggobume	옹고부머	(10-6a-2-2)
onggombi 「忘れる」	---	---
onggofi	옹고피	(10-9a-2-3)
onggorakū	옹고라쿠	(10-17b-5-3)
pan 「漢語潘」 (pan jang 「潘璋」)	판	(10-22a-2-1) (10-22b-4-4)
pu 「普」 (ceng pu 「程普」)	푸	(10-22b-2-2) (10-23a-2-2)
sa 「～たち」	사	(10-6a-6-3) (10-23a-5-5)
sabumbi 「見る」	---	---
sabuha	사부하	(10-23b-1-2)
sain 「良い」	샌	(10-2b-5-4) (10-5a-4-4) (10-6a-3-1) (10-8b-4-6) (10-16b-2-2) (10-20a-5-4)
saisa 「賢者」	새사	(10-16a-2-3)
salambi 「分配する」	---	---
salame	사라머	(10-3a-3-2)

sambi 「知る」 <sup>37</sup>	---	---
sa	사	(10-7a-5-2)
saci	사치	(10-14b-4-4)
safi	사피	(10-11a-1-3)
sarkū	살쿠	(10-10a-4-6)
sargan 「妻」(sargan jui 「女の子」)	살간	(10-2b-3-1) (10-3a-2-1) (10-7b-3-6) (10-8b-3-6) (10-11a-3-6) (10-15a-5-5) (10-19a-2-7) (10-23a-2-5)
sarilambi 「酒宴を開く」	---	---
sarilame	사리라머	(10-18b-5-6)
sarin 「酒宴」	사린	(10-18b-5-5)
sartabumbi 「遅延させる；憂を解く」	---	---
sartabume	살타부머	(10-6a-4-2)
se 「歳；年齢」	서	(10-2a-6-3)
sebjelmbi 「楽しむ」	---	---
sebjele	섭져러	(10-8b-3-2)
sebjelmbihe	섭져럼비허	(10-1b-4-5)
sejen 「車」	서전	(10-20a-4-6) (10-20b-3-5)
sembi 「言う」	슴비	(10-2a-4-4)
seci	스치	(10-15a-2-3)
sefi	스피	(10-2b-2-1) (10-17b-6-4)
sehe	스허	(10-10a-6-4) (10-17a-5-1) (10-22a-4-3) (10-26b-2-3)
sehebi	스허비	(10-16b-3-3)
sehei	스헤	(10-4a-1-2) (10-5a-3-2)
seme	스머	(10-1a-4-5) (10-3a-2-6) (10-8b-3-3) (10-8b-5-4) (10-10b-6-1) (10-13a-4-5) (10-14b-1-2) (10-14b-1-7) (10-16a-4-1) (10-16b-5-1) (10-17a-5-2) (10-17b-2-6) (10-18a-6-8) (10-19b-2-2) (10-21a-3-9) (10-21b-1-4) (10-22b-1-3) (10-23a-4-5) (10-25a-2-6)
sere	스러	(10-9a-2-8) (10-12b-1-2) (10-14b-1-4)
seyembi 「恨みを抱く」	---	---
seyeme	서여머	(10-22a-5-6)
si 「あなた」	시	(10-13a-1-3) (10-14a-4-5) (10-14b-1-5) (10-15a-6-2) (10-17b-6-1) (10-18a-4-2) (10-18b-1-5) (10-19b-5-4)
silimbi 「精選する」	---	---
silifi	시리피	(10-12a-5-2) (10-22a-1-6)

<sup>37</sup> 満洲語文語では、通常、sabu- は「見る」を、sa- は「知る」を意味する。しかし、原書の(10-7a-5-2)に見られる sa および(10-11a-1-3)に見られる safi の sa- は、文脈や朝鮮語訳から判断すると、「知る」ではなく、むしろ「見る」と解釈すべき用例であると考えられる。

sindambi 「置く ; 放つ」	---	---
sindafi	신다피	(10-6b-4-2) (10-7b-6-5) (10-24a-3-4)
sindaha	신다하	(10-22a-6-1)
sini 「あなたの」	시니	(10-17a-3-3) (10-17a-6-4)
sioi 「漢語徐」 (nan sioi 「南徐」)	쉬	(10-9b-5-4) (10-20b-4-1)
sirkedembi 「長引く」	---	---
sirkedeme	실커더머	(10-13a-4-3)
soktombi 「酔う」	---	---
soktoho	속토호	(10-20b-5-6)
songgombi 「泣く」	송곰비	(10-13b-2-6)
soorin 「玉座」	소린	(10-4b-5-4)
subumbi 「冤罪を解く ; 脱がせる ; 酔いが覚める ; 墮胎する」	---	---
subure	수부러	(10-21a-4-5)
suje 「緞子」	수저	(10-8b-1-1) (10-8b-4-4)
sumbi 「解く ; 脱ぐ ; (他者の服を)脱がせる ; 門を開ける」	---	---
sufi	수피	(10-2b-3-4) (10-23b-4-3)
sun 「漢語孫」 (sun ciyan 「孫乾」) (sun cuwan 「孫權」)  (sun fujin 「孫夫人」)	순	(10-3a-4-1) (10-3b-2-2) (10-4b-1-5) (10-4b-2-2) (10-7a-6-1) (10-8a-4-3) (10-19a-2-4) (10-20b-5-3) (10-21a-4-2) (10-21a-6-2) (10-21b-6-5) (10-22a-4-4) (10-22b-6-1) (10-23b-2-1) (10-1a-2-3) (10-2a-5-1) (10-2b-4-4) (10-13a-6-2) (10-14a-4-2) (10-15a-4-1) (10-16a-5-1) (10-17a-1-1) (10-19a-1-2) (10-19a-3-3) (10-20a-2-6) (10-20a-4-3) (10-21a-3-2)
sunja 「五」	순자	(10-9a-6-1) (10-20b-2-5) (10-22a-1-3)
sunjaci 「第五」	순자치	(10-21a-6-4)
susai 「五十」	수새	(10-2a-6-2) (10-12a-4-6)
suweni 「あなたたちの」	쉬니	(10-23b-4-5)
sy 「漢語師」 <sup>38</sup> (jiyūn sy 「軍師」)	스	(10-26a-3-4) (10-26b-1-3) (10-18b-2-5)
šahūrun 「寒い」	샤후룬	(10-2a-2-1)
šan 「耳」	산	(10-6a-3-7)
šeri 「泉」	셔리	(10-16a-3-4)
šolo 「暇」	쇼로	(10-6b-5-4)
šumin 「深い」	슈민	(10-11b-3-3)

<sup>38</sup> 『對音輯字』(上巻第7葉a面)では、漢字「師」に対応する満洲文字はsiである。一方、『三譯総解』において「軍師」の「師」は、syに対応する形で現れている。

šurdembi 「まわる ; めぐる」	---	---
šurdeme	술더머	(10-25a-4-3)
tacibumbi 「教える」	---	---
tacibume	타치부머	(10-9b-4-4) (10-18a-2-7)
tafulambi 「諫める」	---	---
tafulame	타푸라머	(10-17a-1-3)
tai 「漢語泰」 (jeo tai 「周泰」)	태	(10-23b-3-4) (10-24a-1-4)
taiheo 「漢語太后」 (u taiheo 「吳太后」)	태호	(10-17a-4-3) (10-3b-1-2) (10-15b-3-3) (10-19a-2-3) (10-19b-3-2)
taka 「暫く」	타카	(10-2a-2-2) (10-2a-4-5) (10-13a-1-4) (10-15b-5-3)
takambi 「見知る」	---	---
takarakū	타카라쿠	(10-19b-6-3)
takūrabumbi 「遣わされる」	타쿠라븨	(10-2b-3-7) <sup>39</sup>
takūrambi 「遣わす」	---	---
takūraha	타쿠라하	(10-4b-1-1) (10-12a-2-4)
takūrame	타쿠라머	(10-3b-3-3)
tanggū 「百」	탕구	(10-9a-6-2) (10-20b-2-6) (10-22a-1-4)
tanggūnggeri 「百回」	탕궁거리	(10-4b-6-1)
tasha 「虎 ; 寅」	탓하	(10-5b-1-3)
tatambi 「引く ; 宿る」	---	---
tatafi	타타피	(10-9a-5-4)
te 「今」	터	(10-4a-2-1) (10-7b-3-1) (10-14a-2-2) (10-15a-6-1) (10-21b-6-1) (10-26a-1-4)
tebumbi 「座らせる ; 住ませる ; 職に就かせる ; 駐屯させる ; 盛る ; 植える ; 納棺する ; 酒を作る」	---	---
tebufi	터부피	(10-8a-6-4) (10-20a-4-8)
tebuhe	터부허	(10-8b-2-4)
tembi 「座る ; 住む ; 職に就く ; 駐屯する ; 沈殿する ; 水が溜まる」	---	---
teci	터치	(10-4a-4-3)
tefi	터피	(10-11b-4-2) (10-24a-5-5)
teni 「やっと」	터니	(10-14a-6-1)
tere 「その ; それ ; その人 ; あの ; あれ ; あの人」	터리	(10-2b-4-1) (10-8a-5-2) (10-10a-5-2) (10-11a-2-2) (10-18b-3-5) (10-20b-5-1) (10-24a-4-3)

<sup>39</sup> 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記「타쿠라븨」のうち、「븨」の印刷が不鮮明である。

tereci 「それ/あれ/その人/あの人より ; それから ; さて ; やがて」	터리치	(10-1a-2-1) (10-3a-5-3) (10-3b-2-1) (10-9a-4-3) (10-20a-4-1) (10-21a-2-1) (10-21a-6-1) (10-24a-3-1)
terei 「そ/あの人 ; そ/あの」	터레	(10-6a-1-6) (10-6a-3-5) (10-6b-2-1) (10-10a-4-1)
tetun 「器 ; 棺桶」	터툐	(10-8b-1-3)
teyembi 「休む」	---	---
teyeme	터여머	(10-24a-5-4)
tofohoci 「第十五」	토포호치	(10-18b-4-4)
tokdobumbi 「決める ; 平定する」 <sup>40</sup>	---	---
tokdobuci	톡도부치	(10-6b-3-4)
tokdobuha	톡도부하	(10-18a-1-5)
too <sup>41</sup>	토포	(10-23a-4-4)
toombi 「罵る」	툼비	(10-15a-1-6)
toron 「舞い上がる埃」	토론	(10-24b-3-6)
ts'ai 「漢語柴」 <sup>42</sup> (ts'ai ts'ang jiyūn 「柴桑郡」)	채	(10-3b-2-4) (10-24b-1-1)
ts'ang 「漢語桑」 <sup>43</sup> (ts'ai ts'ang jiyūn 「柴桑郡」)	창	(10-3b-2-5) (10-24b-1-2)
ts'oots'oo 「漢語曹操」	초초	(10-12a-3-1)
tubade 「そこ/あそこに ; そこ/あそこで」	투바더	(10-13b-4-3)
tucibumbi 「出す」	---	---
tucibu	투치부	(10-2a-2-3)
tucibufi	투치부피	(10-22a-2-4)
tucibuhe	투치부허	(10-2b-2-3)
tucibukini	투치부키니	(10-2a-4-6)
tucimbi 「出る」	투침비	(10-16b-1-1) (10-21b-5-2)
tucifi	투치피	(10-9b-1-4) (10-18a-4-8) (10-20b-1-1)
tucike	투치커	(10-13a-4-7)
tucikebi	투치커비	(10-24b-4-2)
tugi 「雲」	투기	(10-6b-6-3)
tuhebumbi 「倒す ; 落とす ; 垂らす」	---	---
tuhebure	투허부러	(10-13b-1-1)
tuhembi 「倒れる ; 落ちる ; 垂れる」	---	---

<sup>40</sup> tokdo- という語基形については、王海波 (2026a: 33) の脚注 36 を参照されたい。

<sup>41</sup> 当該の too については、王海波 (2026b: 32) の脚注 89 を参照されたい。

<sup>42</sup> 『對音輯字』(上巻第 26 葉 b 面) では、漢字「柴」に対応する満洲文字は cai である。一方、『三譯総解』において「柴桑」・「柴桑郡」の「柴」は、ts'ai に対応する形で現れている。岸田 (1997: 254, 261) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所の語形はいずれも ts'ai である。

<sup>43</sup> 王海波 (2026d: 67) の脚注 48 を参照されたい。

tuherengge	투허렁거	(10-16b-6-1)
tule 「外に」	투리	(10-9b-1-3)
tumen 「万」	투먼	(10-12a-4-7)
turgun 「原因、理由」	톨군	(10-11b-1-3)
turgunde 「～の原因/理由で」	톨군더	(10-13b-2-4) (10-16a-6-3)
tusa 「利益」	투사	(10-16a-6-5)
tuttu 「そのように；あのよう に」	툏투	(10-1b-5-1) (10-19b-2-3)
tuwabumbi 「見せる；見させ る；見られる」	---	---
tuwabuha	투와부하	(10-7b-1-1)
tuwabume	투와부머	(10-4b-1-8)
tuwakiyambi 「見張る」	---	---
tuwakiyafi	튀카피	(10-10a-6-1)
tuwambi 「見る」	---	---
tuwa	투와	(10-26b-2-2)
tuwaci	투와치	(10-1a-3-1) (10-3b-5-1) (10-4b-3-2) (10-24b-3-4)
tuwafi	투와피	(10-10b-6-6)
tuwaha	투와하	(10-10a-5-4) (10-26a-5-6)
tuwame	투와머	(10-4a-3-4) (10-7a-6-3) (10-10b-5-6) (10-19b-1-8)
tuwara	투와라	(10-1b-6-5)
u 「漢語吳」 (dergi u gurun 「東吳国」) (u heo 「吳侯」) (u taiheo 吳太后)	우	(10-5b-6-4) (10-8a-2-2) (10-15b-3-4) (10-17a-5-3) (10-18b-5-2) (10-3b-1-1) (10-15b-3-2) (10-19a-2-2) (10-19b-3-1)
u 「漢語武」 (cen u 「陳武」)	우	(10-22a-1-8) (10-22b-4-3)
ubade 「ここに/で」	우바더	(10-13b-4-2) (10-25b-2-7)
udu 「幾つ；いくら～(だと て)」	우두	(10-13a-4-1) (10-16a-3-2) (10-17a-4-4) (10-19b-5-5) (10-20a-6-3)
ufarambi 「失う；損する；失 策する」	---	---
ufarara	우파라라	(10-18b-3-4)
uju 「頭；第一」	우주	(10-23b-5-6) (10-23b-5-8)
ukambi 「逃げる」	---	---
ukaci	우카치	(10-21b-4-4)

ukaka	우카카	(10-21a-3-5) <sup>44</sup> (10-21b-1-3)
ulin 「財物」	우린	(10-3a-2-8) (10-7b-4-1) (10-8b-1-2) (10-8b-4-7)
umai 「全く(～でない)」	우매	(10-9a-5-5)
ume 「否定命令標識」	우머	(10-1b-1-5) (10-14a-5-1) (10-16a-2-6) (10-17a-1-6) (10-17b-6-2) (10-18b-3-3) (10-26a-2-6)
unde 「まだ～していない」	운더	(10-21a-4-6)
unenggi 「誠；事実；誠実な；本当の」	우녕기	(10-17b-4-3) (10-21b-4-1) <sup>45</sup>
unenggilembi 「誠を尽くす；誠になる」 <sup>46</sup>	---	---
unenggilere	우녕기러러	(10-4a-1-3) (10-5a-3-3)
unggimbi 「遣わす」	웅김비	(10-17a-3-5)
unggihe	웅기허	(10-4b-2-1) (10-6b-4-3) (10-8a-1-3) (10-26a-4-1)
unggiki	웅기키	(10-17a-4-5)
unggire	웅기러	(10-15b-4-1)
untuhuri 「徒に」	운투후리	(10-22b-3-1)
urebumbi 「果物を熟させる；飯を調理する；復習する；懲らしめる；糸を練る」	---	---
urebume	우리부머	(10-7a-3-1)
urgun 「喜び」	울근	(10-3a-4-5)

<sup>44</sup> 『大清全書』には ukaha と ukaka の両方の形式が見られる。ukaha hūlha 「逸盗。」や ukaka bucehe 「逃込。」(「逃」と「込」はそれぞれ「逃」と「亡」の異体字) などの見出し語を参照されたい。『満露辞典』(Захаров 1875: 143) にも、uka- につく完了接辞には -ha と -ka の両形式があるという記述がある。清学書『清語老乞大』にも、ukaha と ukaka の両方の形式が見られる。出現箇所はそれぞれ(2-18a-4-2)と(3-21a-2-2)である。최동권 외 (2012: 603) も、『清語老乞大』に ukaha と ukaka の両方の形式が見られることに言及している。なお、岸田 (1997: 259) によれば、『三譯総解』(10-21a-3-5)の ukaka に対応する『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所の語形はそれぞれ ukaha と ukaka である。

<sup>45</sup> 岸田 (1997: 259) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所における語はそれぞれ unenggi と inenggi である。また、岸田が指摘したとおり、漢文『三国志通俗演義』嘉靖本と李卓吾本の当該部分の漢語はいずれも「今日」であるため、『三譯総解』・『満文三国志』の unenggi は、漢文に逐語的には対応していない。

<sup>46</sup> 『清文鑑』と『増訂清文鑑』における見出し語 unenggilembi の満洲語の説明文はそれぞれ次のとおりである。

『清文鑑』 unenggi be yabure be, unenggilembi sembi.

『増訂清文鑑』 unenggi i yabure be unenggilembi, sembi.

両者の間には、「unenggi be」と「unenggi i」の違いが見られる。なお、『清文鑑』および『増訂清文鑑』の満洲語の説明文では、通常「A be, B sembi.」のように、句読点「,」は B の後ではなく be の後に置かれる。ところが、『増訂清文鑑』の当該箇所では、be の後に「,」が見られない一方で、B に相当する unenggilembi の後に「,」が置かれている。

『増訂清文鑑』における unenggilembi の漢訳は「竭誠」である。unenggilembi の和訳について、羽田 (1937: 451) は「誠を竭す」、田村ほか (1966-1968) (上巻 314 頁) は「誠をつくす」、福田昆之 (2008: 874) は「誠を尽くす」と、それぞれ和訳している。一方、unenggilere が『三譯総解』に出現している 2 例は、いずれも holtombi sehei unenggilere という文脈に出現しており、『満漢合璧三国志』における漢語はいずれも「弄假成真」(直訳: 嘘のことをして誠になる) であり、unenggilere に対応する部分は「成真」(誠になる) に当たる。

urgunjembī 「喜ぶ」	울군점비	(10-3a-1-2)
urgunjeme	울군져머	(10-8a-5-1)
ursee 「衆人」	울서	(10-20a-5-2)
urun 「息子の嫁」	우륄	(10-20a-2-1)
urunakū 「必ず」	우루나쿠	(10-5b-3-1) (10-12b-5-1) (10-17a-3-2) (10-17a-5-5) (10-22b-5-1)
utala 「これほど(多い)」	우타라	(10-10b-3-3)
uthai 「すぐに ; 即ち」	운해	(10-4a-6-1) (10-11a-2-1) (10-15a-2-1) (10-17b-2-8) (10-21b-2-1) (10-22a-1-2)
uttu 「このように」	윗투	(10-5a-2-2) (10-11b-6-3) (10-14b-2-2) (10-14b-4-3) (10-15a-3-6) (10-15b-2-3) (10-17b-4-4)
uyun 「九」	우윤	(10-16a-3-3)
wajimbī 「終わる」	---	---
wajifi	와지피	(10-4a-3-5) (10-7a-6-4) (10-16b-5-3)
wajime	와지머	(10-10b-1-5)
wajinggala 「終わる前」	와징가라	(10-25a-3-2)
wajirakū	와지라쿠	(10-7a-4-6)
waka 「～ではない ; 非」	와카	(10-2a-1-2) (10-5b-4-6)
waliyambi 「捨てる ; 吐き出す ; 展墓する」	---	---
waliyaha	와랴하	(10-20a-1-6)
waliyame	와랴머	(10-13b-6-4)
wambi 「殺す」	---	---
wame	와머	(10-2a-6-6)
wecembi 「祭る」	워첨비	(10-17b-2-5) (10-18a-6-7)
weceki	워쳐키	(10-19b-2-1)
wehe 「石」	워허	(10-22a-6-3)
weile 「罪 ; 事」	웨리	(10-1b-3-1) (10-2a-1-1) (10-4a-2-3) (10-5a-1-4) (10-5a-4-2) (10-6b-3-2) (10-11a-5-1) (10-11b-6-1) (10-18b-2-1) (10-19b-4-5) (10-23a-3-4)
weilembī 「働く ; 作る ; 事を為す ; 仕える」	---	---
weilere	웨리러	(10-16a-2-7)
wesihun 「上に ; 東に ; 高貴な」	워시훈	(10-1b-1-3) (10-11a-5-3)
wesimbumbī 「上奏する」	워심븨비	(10-4b-6-4)
yabumbī 「行く、歩く ; 行う」	---	---
yabu	야부	(10-8a-4-2) (10-13a-4-4) (10-25a-2-1)
yabufi	야부피	(10-2b-1-1) (10-24a-4-2)
yabume	야부머	(10-13b-4-7)
yaburakū	야부라쿠	(10-10b-5-7)

yalumbi 「騎乗する」	---	---
yalufi	야루피	(10-20a-6-2)
yamji 「晩」	얌지	(10-21b-4-5)
yamjimbi 「日が暮れる」	---	---
yamjiha	얌지하	(10-21a-2-3)
yamun 「衙門、役所、官庁」	야문	(10-6a-1-2) (10-7b-3-3) (10-8a-5-5) (10-9a-5-1) (10-11b-3-6) (10-18b-6-5)
yangsalambi 「飾る、粧す」	---	---
yangsalame <sup>47</sup>	양사라머	(10-6a-1-4)
yargiyan 「本当の」	얌간	(10-9a-1-1) (10-26a-6-2)
yasa 「目」	야사	(10-6a-3-6) (10-16b-5-4)
yasai 「目の」	야새	(10-13a-6-7)
yuwan 「すずり(漢語硯)」	완	(10-22a-6-4)
yūn 「漢語雲」 (joo yūn 「趙雲」)	윈	(10-9a-4-5)

<sup>47</sup> 当該語の語幹は、『大清全書』と『増訂清文鑑』のいずれにおいても yangsela- と綴られている。『大清全書』における見出し語 yangselaha 「粧飾了。駢驪修飾。」および『増訂清文鑑』における見出し語 yangselambi 「文飾」を参照されたい。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、yangsalame に対応する形で現れている。岸田 (1997: 254) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも yangselame である。

## 参考文献

### <日本語文献>

- 池上二良 (1951) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.
- 池上二良 (1954) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.
- 池上二良 (1963) 「ふたたび滿洲語の諺文文献について」『朝鮮學報』26: 94-100.
- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮學報』12: 21-58.
- 王海波 (2026a) 「『三譯總解 (第三)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』279: 1-40.
- 王海波 (2026b) 「『三譯總解 (第五)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』280: 1-38.
- 王海波 (2026c) 「『三譯總解 (第六)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』280: 39-72.
- 王海波 (2026d) 「『三譯總解 (第八)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』281: 39-74.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清學書のハングル対音の性格について」『韓国語學年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清學書に現れた滿洲語ハングル表記について：特に滿洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語學研究』8: 17-38.
- 岸田文隆 (1997) 『『三譯總解』の滿文にあらわれた特殊語形の来源』東京：東京外國語大學アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長 (1966-1968) 『五體清文鑑譯解』京都：京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937) 『滿和辭典』京都：京都帝國大學滿蒙古調查會.
- 早田輝洋 (1988) 「滿洲語文語における或る単語の単数と複数について：『滿文金瓶梅』の asihan と asihata」『九大言語學研究室報告』9: 1-17.
- 早田輝洋 (1993) 「滿洲語文語における「取りに (連れに) 来る」を意味する動詞について：『滿文金瓶梅』を資料として」『文學研究』90: 89-130.
- 早田輝洋 (2008) 「滿洲語の音節構造：音節節約を中心にして」寺村政男・久保智之・福盛貴弘 (編) 『語學教育フォーラム (第 16 号) : 言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』21-51. 東京：大東文化大學語學教育研究所.
- 福田昆之 (2008) 『増訂滿洲語文語辭典』横浜：FLL.
- 和田景子 (2013) 「『漢清文鑑』における滿洲語のハングル表記：特に滿洲語の文字連続 CVwV を中心に」寺村政男 (編) 『大東文化大學日本語學科 20 周年記念論文集』244-255. 東京：大東文化大學日本語學科.

### <韓国語文献>

- 성백인(1984) 「譯學書에 나타난 訓民正音 使用: 司譯院 清學書의 만주어 한글 표기에 대하여」『한국문화』5: 21-63.
- 邵磊(2011) 「『漢清文鑑』을 통해 본 滿文의 한글表記法」『中韓文化關係國際學術會議論文集』290-308.
- 최동권, 김양진, 김유범, 황국정, 신상현(2012) 『譯註 清語老乞大新釋』 서울: 박문사.

### <中国語文献>

- 崔宰宇 (編著) (2005) 《漢清文鑑簡編》北京：民族出版社.

- 崔宰宇 (1997) 『漢清文鑑』の編排體例和語音轉寫 『中央民族大學學報 (社會科學版)』1997(3): 82-89.
- 金東昭 (1990[1977]) 「《龍飛御天歌》女真詞彙研究」金東昭 (著)・黃有福 (譯) 『女真語、滿語研究』85-103. 北京: 新世界出版社. 初出: 『國語教育研究』9: 91-105.
- 邵磊 (2016) 「清-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音: 以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」 『編譯論叢』9(2): 57-92.
- 邵磊・多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究: 以『清語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」 『東方語言學』2022(2): 17-25.
- 邵磊・多麗梅 (2023) 「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿學研究』2023: 195-204.
- 邵磊・金龍軍 (2022) 「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫: 以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」 『民族翻譯』2022(4): 77-86.
- 邵磊・林茶英 (2022) 「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」 『滿語研究』2022(2): 69-74.
- 邵磊・任國俊 (2023) 「清學書中的朝鮮文『圈點字』研究」 『民族翻譯』2023(3): 78-88.
- 邵磊・王敵非 (2022) 「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿族研究』2022(2): 89-95.
- 王敵非 (2013) 「『清語老乞大』滿朝對音研究」 『黑龍江民族叢刊』2013(6): 155-158.

<英語・ドイツ語文献>

- Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.
- Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.
- Schmidt, Peter. (1933) Chinesische Elemente im Mandschu. Mit Wörterverzeichnis (Fortsetzung). *Asia Major*. 8: 233-276.
- von der Gabelentz, Hans Colon. (1864) *Sse-schu, Schu-king, Schi-king in Mandschuischer Uebersetzung, mit einem Mandschu-Deutschen Wörterbuch (Zweites Heft. Wörterbuch)*. Leipzig: Deutsche Morgenländische Gesellschaft.
- von Möllendorff, Paul Georg. (1892) *A Manchu Grammar with Analysed Texts*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.
- Yang, Jaeyeong. (2025) *Diachronic Morphology of Consonantal Stems in Jurchen and Manchu*. Ph.D. dissertation, Seoul National University.

<ロシア語文献>

- Захаров, И.И. (1875) *Полный Маньчжурско-Русский Словарь*. СПб.: Типография Императорской Академии Наукъ.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul  
in the Tenth Volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*

Haibo WANG  
(Lingnan Normal University)

Keywords: *Sam-yŏk Ch'ong-hae*, Hangul Transcription, Written Manchu

*Sam-yŏk Ch'ong-hae* is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in the tenth volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいは boljon@163.com)